防災について話し合い、防災対策を実践しよう

災害が発生したとき、家族と一緒にいるとは限りません。普段から災害が発生したときにすることや連絡方法などを、家族と話し合っておきましょう。

独り暮らしの人は、いざというときに助け合える人や、連絡が取れる人を確認しておきましょう。

防災対策を下の項目で確認したり、平成19年に全戸配布しました「市民防災マニュアル」で確認したりしましょう。「市民防災マニュアル」をお持ちでない人は、彦根市ホームページからダウンロードして、ご確認ください。

災害時の役割分担

□災害が発生したときに、各自がどのような行動をするのか決めておきましょう。（火の元のチェック、情報収集、戸締まり、避難誘導など）

□高齢者や乳幼児がいる場合は、誰が助けにいくのかなど決めておきましょう。

家の防災対策

□家具の安全な配置、固定などに取り組みましょう。

□通路や出入口に物を置かないようにしましょう。

□消火器や救急箱の準備をしましょう。

□家の内外に危険な場所はないかチェックし、改善しておきましょう。（修理や補強）

避難場所、避難経路の確認

□最寄りの避難場所を確認しておきましょう。

□家族が離ればなれになったときの集合場所を決めておきましょう。（集合場所の第2、第3候補も決めておくとよいでしょう）

□避難場所までの経路を下見しておきましょう。

非常持出品のチェック

□非常持出品を人数分準備しておきましょう。（家族構成、年齢などに応じて、必要なものを準備しておきましょう）

□非常持出品の使用期限や賞味期限を定期的に確認しましょう。

家族との連絡方法の確認

□家族が離ればなれになったときの連絡方法を決めておきましょう。普段使っている携帯電話や電子メールは使えないかもしれません。（災害用伝言ダイヤル、災害用伝言板、貼り紙など）

□家族の緊急連絡先（職場などの連絡先）を取りまとめ、携帯しましょう。

防災技術の習得

□消火器の使用方法、応急手当の方法を覚えておきましょう。

□地域で開催される防災訓練に、家族で参加しましょう。

データ放送から防災情報を入手できます

7月24日にテレビは「アナログ放送」が終了し、「デジタル放送」に移行しました。デジタル放送では、リモコンの「dボタン」を押すと、各番組の「データ放送」からさまざまな情報を入手することができるようになっています。

例えば、NHK総合テレビのデータ放送では、下の写真のとおり、気象情報や、芹川・犬上川などの河川の水位情報といった防災情報を簡単に入手できるようになっています。

テレビは各家庭の身近な情報収集手段にもなります。災害時の情報収集に活用しましょう。

番組が表示されている画面で、リモコンの「dボタン」を押すと、データ放送のメニュー画面が表示されます。

※右の写真の「dボタン」は一例です。メーカーや機種により、位置などが異なります。

「気象情報」「河川水位・避難所情報」「台風・高温情報」など知りたいメニューを選択して、決定ボタンを押すと、情報が表示されます。

■気象情報

警報・注意報などが表示されます。

■河川情報

主要な河川の水位情報だけでなく、避難判断水位などの情報も表示されます。

災害への備え　彦根市災害対策基金

彦根市では、東日本大震災を背景に、将来的に発生しうる災害への備えとして「彦根市災害対策基金」を設置しました。

市内だけでなく、市外で災害が発生した場合も、被災者の救助や復興支援のために活用します。

具体的には、「ひこにゃん」商標の使用許諾料の一部を「彦根市災害対策基金」に、毎年度、計画的に積み立てます。皆さんからの寄附金も積立金にさせていただきます。ご協力をよろしくお願いします。

寄附金の口座

【金融機関名】滋賀銀行彦根支店
【口座番号】普通預金 308030
【口座名義】彦根市災害対策基金